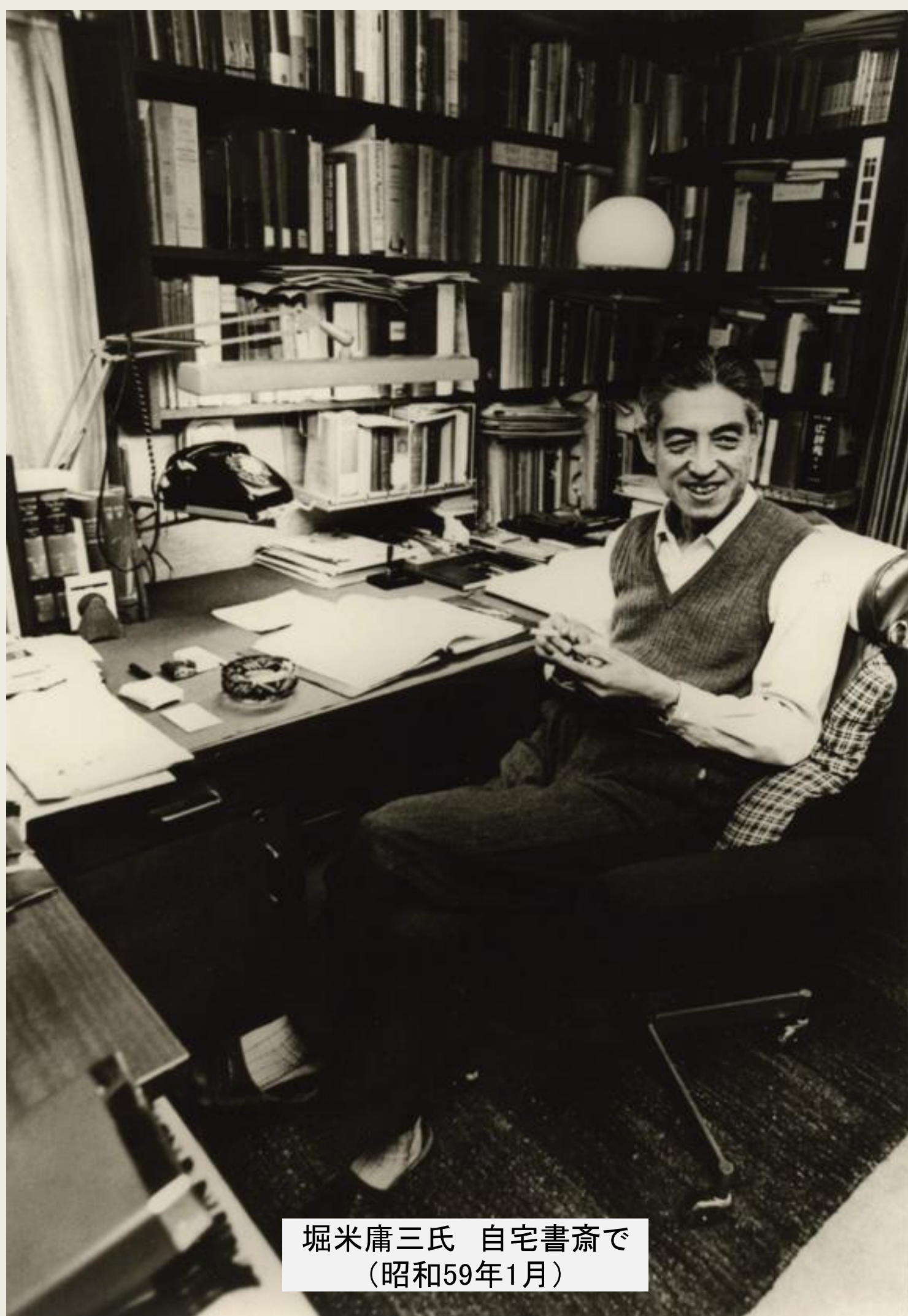


没後50年 堀米庸三と私 講演会

日時：令和8年3月1日（日） 午前10時～正午

場所：山形県生涯学習センター 遊学館（3階 第1研修室）

講師：山形大学名誉教授 松尾 剛次（まつお けんじ）氏



堀米庸三氏 自宅書斎で
（昭和59年1月）



講師
松尾剛次氏

講師プロフィール

松尾剛次（まつおけんじ）氏

山形大学名誉教授
山形大学都市・地域学研究所名誉所長

【専門】
日本中・近世史、日本宗教史

【略歴】
1977年東京大学卒業。
1981年同大学院を経て、
1981年山形大学講師に任用、
1998年同教授に昇任し、現在に至る。
東大博士（文学）、東京大学特任教授、
ロンドン大学客員教授、ニューヨーク州立
大学客員教授、北京外国語大学客員教授、
早稲田大学講師などを歴任。

今年、没後50年となる河北町出身の堀米庸三は、戦後のヨーロッパ中世史研究を主導した一人です。
主な著書である「中世国家の構造」によって封建社会の分析を目指し、ドイツ史を中心とした戦後の西欧中世史研究の基礎を築きました。その後、「正統と異端」などで中世文化の新しい理解の方向を提唱し、文明批評にも独自の境地を開きました。
山形県立図書館では、堀米庸三の著作等の展示および山形大学名誉教授 松尾剛次（まつおけんじ）氏による講演会を行います。

内容：縣人文庫『堀米庸三 没後50年』講演会 「堀米庸三と私」

第1部「堀米庸三と西欧中世宗教史研究 -日本中世宗教史研究に与えた衝撃-」
第2部「日本における中世宗教史研究 -堀米庸三を超える試み-」

定員：先着100名 聴講無料

（事前に登録フォームから申込みが必要です）

お申込み
はこちら

